

愛知県感染症情報

平成 12 年第 9 週（3 月第 1 週）

（コメント）

インフルエンザは定点当たり 6.0 人とさらに減少しています。

感染性胃腸炎、A 群溶血性レンサ球菌、水痘は、先週に引き続き依然流行しています。

先生方からのコメントにはロタウイルスが目立ちます。

（先生方からのコメント）

- ・ 乳児のロタウイルスによる胃腸炎と幼児から小学生までの嘔吐、腹痛を伴う胃腸炎が流行しています。
（豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科）
- ・ インフルエンザ様疾患は Fl uA(-) です。下痢の患者が増えてきました。
（西尾市 やすい小児科）
- ・ ロタウイルス 1 名
（小坂井町 医療法人宝美会総合青山病院）
- ・ ロタウイルス多し 14 名（0 才男 1 名、0 才女 2 名、1 才男 4 名、1 才女 3 名、2 才女 3 名、4 才男 1 名）
（岡崎市 医療法人深田小児科）
- ・ カンピロバクター 3 名（1 才 2 名、17 才 1 名）
（岡崎市 とみた小児科）
- ・ 感染性胃腸炎（ロタウイルス 2 名いずれも 1 才男及びカンピロバクター、病原性大腸菌混合 1 例 9 才男）
（岡崎市 小児科延寿堂杉浦医院）
- ・ 病原性大腸菌 0-1 9 才女 （生がきを食べた）
ロタウイルス感染症目立ちます。
（岡崎市 花田こどもクリニック）
- ・ ロタウイルス腸炎、数名あり。週末になり、中学生のインフルエンザ様疾患が目立ちましたが、全体としてはかなり減少しています。
（田原町 かわせ小児科）
- ・ 感染性胃腸炎（カンピロバクター(+) 5 才男及びロタ(+)5 例（～12 ヶ月男女各 1 例、1 才男 2 例、2 才男 1 例））
インフルエンザ ディレク Fl uA(+) 5 才男
（知立市 近藤こどもクリニック）

- 病原性大腸菌 6 例 （ 0-18（ 1 才男、 2 才女 ）、 0-25（ 5 才女 ）、 0-1（ 1 才女、 9 才男 ）、 0-86 a（ 4 才男 ） ）
 白色下痢症の子供が増加、この内ロタウィルス抗原陽性 1 例（ 1 才女 ）
 （ 豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック ）
- 病原性大腸菌 0-18（ 8 才女 ）
 （ 豊田市 やふそ小児科 ）
- 9 ヶ月男 カンピロバクター、病原性大腸菌 0-6（ VT1、 2(-) ）の混合感染がありました。
 （ 東海市 小児科ハヤカワ医院 ）
- インフルエンザはほとんど認められなくなりました。
 ロタ抗原陽性例の下痢やや目立ちます（入院例もあり）
 乳児嘔吐下痢症増加しています。
 溶連菌、突発疹散発。
 （ 尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院 ）
- ロタウィルス陽性の嘔吐下痢症が増加しています。
 （ 瀬戸市 津田こどもクリニック ）
- マイコプラズマ肺炎 1 才男 2 名。
 （ 春日井市 かちがわ北病院 ）
- マイコプラズマ 2 名（ 13 才男、 13 才女 ）
 （ 師勝町 師勝クリニック ）
- 1 才女、顔面・口唇ヘルペス
 （ 一宮市 あさのこどもクリニック ）
- 溶連菌感染症 3 才男
 感染性腸炎のうち、カンピロバクター腸炎 13 才男 2 名 糞
 便ロタウィルス陽性者 2 名（ 11 ヶ月男、 1 才男 ）
 糞便アデノウィルス陽性者 3 名（ 11 ヶ月男、 1 才男、 2 才男 ）
 （ 尾西市 城後小児科 ）
- ヘルペス歯肉口内炎多し、水痘、ムンプス流行してきました。急性胃腸炎（年長児）多し
 （ 岩倉市 なかよしこどもクリニック ）
- 感染性胃腸炎の流行が続いています。
 （ 江南市 みやぐちこどもクリニック ）

(1 ～ 3 類感染症の発生状況)

腸管出血性大腸菌感染症患者 2 名。

豊橋市保健所から報告の 1 才女、2/24 初診、2/29 診定、菌型は、0-157 VT1(+)VT2(+)

豊橋市保健所から報告の 21 才男、2/29 発病、2/29 初診、2/29 診定、菌型は、0-157 VT2(+)

細菌性赤痢患者 1 名。

豊橋市保健所から報告の 25 才男、2/21 発病、2/26 初診、2/29 診定、菌型は、ゾンネ 相。

(全数把握の 4 類感染症の発生状況)

レジオネラ症患者 1 名

第 7 週 (平成 12 年 2 月 14 日 ～ 2 月 20 日) の 4 類感染症の全国状況
インフルエンザは定点当たり報告数が急速に減少している。今シーズンの流行曲線はピークが昨シーズンをやや上回ったが、流行期の幅は昨シーズンより短くなりそうである。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘の定点当たり報告数が例年の同時期より多い。

水痘は九州地方と沖縄県、石川県で定点当たり報告数が多くなっている。麻疹は大阪府下で患者が急増しており、隣県の兵庫でも患者数は増加傾向にある。また、千葉県でも麻疹は今年始めから例年より多くの患者報告があり、千葉衛研疫学研究室では週報上で注意を呼びかけていたが、今週も報告数が多くなっている。そのほか香川県、茨城県、福島県でもまとまった数の患者報告数がある。非流行期の咽頭結膜熱の定点当たり報告数も例年より多くなっている。

(Infectious Diseases Weekly Report より抜粋

厚生省感染症研究所感染症情報センター感染症情報室提供)